

2013年7月16日

推薦者各位

公益財団法人 NEC C&C 財団
専務理事 鹿田 實

「国際会議論文発表者助成」候補者に関する
2013年度後期分募集についてのお願い

拝啓 時下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、当財団では2013年度後期国際会議論文発表者助成候補者の募集を行います。

本募集は、C&C 技術分野の研究者を目指す有望な若手人材への助成を通して、エレクトロニクス産業の一層の発展に貢献することを目的としており、海外で開催される国際会議において同技術分野の論文発表者を対象に、その会議に出席のための渡航費用等を補助するものです。詳細については別紙募集要項をご参照下さい。

つきましては、学内で相応しい方がいらっしゃいましたら、ご推薦頂きたくお願い申し上げます。

同封の推薦書に必要事項をご記入いただき、来る8月30日(金)までに当財団に届くようご返送下さい。

宜しくお願い申し上げます。

敬具

国際会議論文発表者助成候補者募集要項

I. 助成の内容

(1) 発表論文の内容

C&C分野、及びその関連技術

- *C&C分野とは、情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術およびこれらの技術の融合した技術分野をいう。
- *関連技術とは、C&C分野の応用技術全般を含む。
- *推薦書内に、助成候補者の研究がどのようにC&Cの発展に貢献するかを記載する。

(2) 助成候補者の資格

- ① 国際会議参加時に日本の大学及びこれに準ずる教育機関に在籍している大学院生（原則として40才以下）。
- ② 国際会議（査読付き）での論文採用が原則として確定していること。
論文採用未確定の場合でも応募できる。ただしこの場合は論文採用確定をもって助成する。
- ③ 筆頭著者で、かつ発表者であること。
- ④ 経済的必要性が高いこと。

II. 助成の概要

(1) 応募件数は、1名につき1件とする。

(2) 1件当りの助成額

12～25万円、開催地などによる。

(3) 同一の推薦者（＝同じ研究室）から同一の国際会議への応募は原則1名とする。複数名の応募の場合は、推薦者による優先順位を参考に審査する。

(4) 支給方法

本人の銀行口座へ振込む。

(5) 助成の対象となる国際会議（2013年度後期募集分）

開催期日が2013年11月1日～2014年4月30日で査読付きのもの

(6) 報告書の提出

帰国後に発表論文、参加報告書及び会計報告書を提出する。

(7) その他

- ① 助成金受給に際し、参加する国際会議・発表論文等、応募時の条件を変更したものは、その資格を失う。
- ② 助成金受給決定者について、受給後、当財団の年次報告書「1年のあゆみ」に次の事項を掲載する予定である。不都合のある方は事務局まで申し出ること。
掲載予定事項：氏名、所属・学年、論文名、参加した国際会議、顔写真

III. 推薦の手続き

(1) 推薦者

助成候補者の指導教官

(2) 同一の推薦者（すなわち同一研究室）から同じ国際会議へ参加する者を複数推薦する場合は、推薦者が優先順位をつけること（審査の際の参考情報とする）。

(3) 提出書類

①国際会議論文発表者助成候補者推薦書

※ 財団ホームページからダウンロードの上、最新版を使用し、全ての項目を記入すること。旧版の使用及び記入もれのある場合は原則として受け付けない。

<http://www.candc.or.jp/>

②論文発表の採用確定者は、採用通知書の写し

③発表論文の写し、又はそれに代るもの(論文作成前の場合はアブストラクトを添付)

(4) 応募方法

上記提出書類を郵送するとともに、審査処理のため推薦書のエクセルデータを e-mail にて送付。ただし、このエクセルデータには写真及び押印はなくてもよい。

(5) 応募締切

2013年8月30日(金)必着 (持参、e-mail のみの送付は不可)

(6) 本件に関する採否の連絡

2013年10月中旬に推薦者ならびに助成候補者に通知する。

(7) 推薦書送付先

郵送:〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号 NEC本社ビル

e-mail:kokuron@candc.or.jp

公益財団法人 NEC C&C 財団

専務理事 鹿田 實 宛

(8) 本件に関する連絡先

公益財団法人 NEC C&C 財団 事務局

電 話: 03-3457-7711

ファクシミリ:03-3798-7818

e-mail:kokuron@candc.or.jp

以上